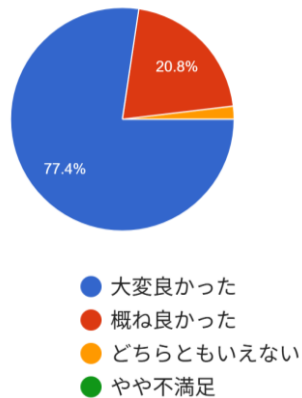


## 参加者

| 職種              | 会場 | WEB |
|-----------------|----|-----|
| 保健師・看護師         | 14 | 24  |
| 主マネ・ケアマネ        | 6  | 9   |
| 薬剤師             | 1  | 9   |
| MSW・社会福祉士       | 2  | 3   |
| リハビリ職(PT/OT/ST) | 3  | 3   |
| 医師              | 6  | 2   |
| 介護福祉士・介護士       | 2  | 2   |
| 管理栄養士・栄養士       | 0  | 1   |
| 歯科医師            | 0  | 1   |
| その他             | 0  | 1   |
| 不明              | 0  | 5   |
| 合計              | 34 | 60  |

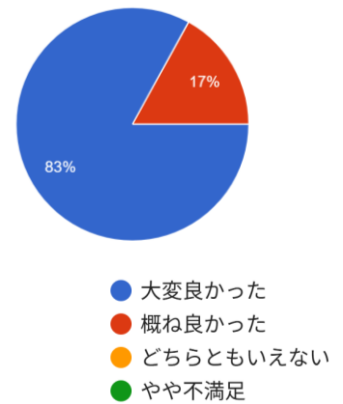
### ◎講演1「緩和ケアの基本と地域の緩和ケアリソース」はいかがでしたか

53 件の回答



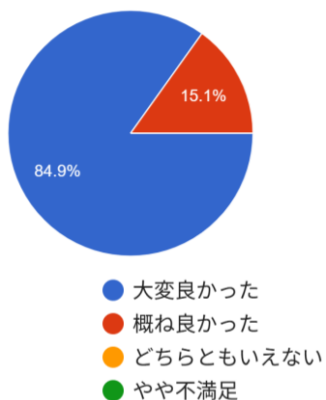
### ◎講演2「医療用麻薬は中毒になる？よくある誤解とその根拠」はいかがでしたか

53 件の回答



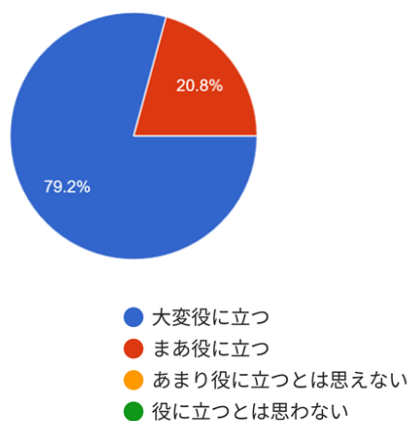
### ◎講演3「緩和ケア病棟の役割と利用方法 看取りだけじゃない！緩和ケア病棟の活用ガイド」はいかがでしたか

53 件の回答



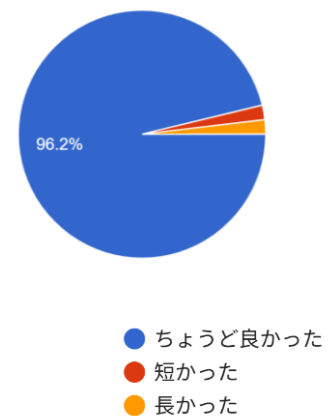
### ◎本日の研修は今後の診療やケアに役立ちますか

53 件の回答



### ◎研修時間はいかがでしたか

53 件の回答



## ◎印象に残った言葉や感想等一言お願いします

- ・緩和ケアを行う目的として、痛みを緩和してより良い生活を送れるようにするという説明が分かりやすかったです。また、医療用麻薬を適切に服薬してもらうためには医療、介護などが連携して患者さんに関わっていくことが重要であることがわかりました。
- ・緩和ケアは終末期だけのものではない、また麻薬も終末期だけではなく今を生きるものである。
- ・「QOLの答えは本人、家族の中にある」本当にその通りだと思います。忘れないようにします。
- ・対象者の人生や価値観を大切にしたいと思いました。
- ・緩和ケア病棟をレスパイトで利用できる。お気軽に緩和ケア病棟にお問い合わせください、ということ。必要時にはぜひ案内したいと思いました。
- ・緩和ケア病棟＝最期の場合と思い込んでいたので、退院できる、再入院できることに驚きました。リハビリ職にも理解しやすい内容でした。リハ職としてできることを探していきたいと思いました。
- ・飲酒ができる事、面会の自由度が高いこと、パーティーができる事など癌の苦痛と戦う方にとってとても素敵なケアだと思いました。

- ・「入院の予約をお守りに退院」の言葉が心に残りました。家を望む方もいらっしゃると思いますが、やはり不安もある中、お守りをもらい家に送り出してくださるのは、本人、家族、そして支援する側としても、とても安心でありがたいです。
- ・在宅看取りは家族も本人も不安が付きものなので、お守りとしての緩和ケア病棟は有り難い存在だと思います。(類似回答他5件)
- ・貴院の緩和ケア病棟のシステムが良くわかりました。
- ・緩和ケア病棟のイメージも死にいく場所だと思われている方々も多くいるため活用方法について再認識しました。
- ・緩和ケアを行う目的として、痛みを緩和してより良い生活を送れるようにするという説明が分かりやすかったです。また、医療用麻薬を適切に服薬してもらうためには医療、介護などが連携して患者さんに関わっていくことが重要であることが分かりました。
- ・医療用麻薬の現状、緩和ケア病棟の柔軟な利用方法等学ぶことができました。がんを患っても終わりではなく支援者がたくさんいるのは心強いと思います。
- ・麻薬の話はとても分かりやすく「介護職」向けの部分は特に良かったです。緩和ケアの基本、病棟の利用方法もとても分かりやすく、写真やイラストもあり病棟の様子が伝わってきました。医療的ケアについての問題、坐薬、ちょっとした摘便、麻薬の貼り替えなど、やらなければならない時が良くあります。
- ・トラマドールが、中国等の海外では麻薬扱いにあることを知り勉強になりました。
- ・「生活を支える薬」リハビリの関りでどうするか考えさせられました。
- ・介護職の役割とサポートの中で、麻薬に対する昔のイメージと現在の考え方について。
- ・医療用麻薬と一般的な麻薬が違うことを知りました。
- ・麻薬や緩和ケアについて分かり易い説明で、とても勉強になりました。木下医師の「麻薬は生活を支える薬です。」の言葉が印象に残っています。日々、ご利用者を身近でケアしている介護士の気付きを多職種に発信していきたいと思います。
- ・ヘルパーさんの麻薬アレルギーに対する対策。
- ・根岸さんのお話の仕方、目線の配り方がとても優しくわかりやすい内容で感動しました。また、聖隷横浜病院緩和ケア病棟の見学会なども企画いただき、幅広い人が緩和ケアについて知る機会を作っていただきありがとうございます。
- ・緩和ケアは死に場所ではなかったという理解ができました。
- ・緩和病棟はゴールではない。スタートである場合も通過点なこともある
- ・オピオイドを使用した時の患者の体調の変化は興味深かったです。
- ・緩和ケア病床を増床して、いつでも利用できるようなになれば安心して在宅療養を選択できるのではないかと思います。
- ・介護職の役割とサポートの1～4　利用者さんとの接点が多いので症状の変化、表情のサインを見逃さない。
- ・医療用麻薬について、利用者に否定的なことを言わない。
- ・他の研修ではあまり聞かれない「介護職」についての話が出たのが良かったです。
- ・緩和ケア病棟見学会に参加してみようと思いました。
- ・どの先生のご講義も具体的でわかりやすく勉強になりましたありがとうございました。(類似回答他6件)